



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月8日

上場会社名 株式会社ダイフク 上場取引所 東
コード番号 6383 URL <https://www.daifuku.com/jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 下代 博
問合せ先責任者（役職名） 常務執行役員 CFO（氏名） 日比 徹也（TEL）06-6472-1261
半期報告書提出予定日 2024年11月11日 配当支払開始予定日 2024年12月5日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	302,621	7.6	38,144	100.1	38,186	83.3	29,712	109.2
2024年3月期中間期	281,267	1.3	19,060	△22.1	20,838	△16.3	14,206	△16.5

（注）包括利益 2024年12月期中間期 45,226百万円（67.3%） 2024年3月期中間期 27,033百万円（△21.5%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	80.15	76.43
2024年3月期中間期	37.69	37.60

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	689,559	394,475	57.1
2024年3月期	646,154	358,755	55.5

（参考）自己資本 2024年12月期中間期 394,055百万円 2024年3月期 358,412百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	14.00	—	26.00	40.00
2024年12月期	—	23.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	24.00	47.00

（注）1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2 2024年12月期は、決算期変更に伴い、2024年4月1日から2024年12月31日までの9カ月決算となります。

3 2024年12月期は、決算期変更に伴い、第2四半期末（中間）配当の基準日を9月30日、期末配当の基準日を12月31日としています。

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年4月1日～2024年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	550,000	—	64,000	—	66,000	—	48,500	—	131.12

- (注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
 2 2024年12月期通期は、決算期変更の経過期間となることから、対前年増減率は記載していません。
 3 当社は2024年11月8日開催の取締役会において、自己株式を取得することを決議しました。2024年12月期の連結業績予想における「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の取得の影響を考慮していません。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期中間期	379,830,231株	2024年3月期	379,830,231株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	9,106,788株	2024年3月期	9,178,575株
③ 期中平均株式数（中間期）	2024年12月期中間期	370,708,392株	2024年3月期中間期	376,882,049株

(注) 期末自己株式数には、株式給付信託(BBT)が保有する自己株式を含んでいます。株式給付信託(BBT)が保有する自己株式数は、2024年12月期中間期末471,900株、2024年3月期末544,400株です。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想の数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいます。実際の業績等は、様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料4ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は、TDnetで11月8日に開示し、同日、当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	13
(重要な後発事象)	17

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年4月1日～9月30日)における世界の経済は、中国経済の低迷や米国経済の減速懸念に伴う下振れリスクはあったものの、総じて順調に推移しました。

事業環境としては、日本における物流関連投資が回復基調にあります。半導体産業では、中国におけるレガシー半導体投資が高水準で継続すると同時に、AI向け半導体の需要増加に伴い一部先端半導体投資が回復基調にあります。また、半導体後工程における自動化投資も顕在化してきました。自動車産業では、xEV(BEV、HEV、PHEV、FCEVなど電動車の総称)投資が高水準で継続しています。航空旅客数の回復に伴い空港における自動化投資も伸長しています。

このような経済・事業環境の下、当中間連結会計期間の受注は、北米における空港向けシステムが大きく伸長したほか、一般製造業・流通業、半導体生産ライン、自動車生産ライン向けシステムは順調に推移し、前年同期を上回りました。

売上は、豊富な前期末受注残高をベースに一般製造業・流通業、半導体生産ライン、空港向けシステムは増収となりました。

この結果、受注高は3,339億22百万円(前年同期比13.5%増)、売上高は3,026億21百万円(同7.6%増)となりました。

利益面は、原材料・人件費高騰に伴うコスト増加分の価格転嫁等が進展し、一般製造業・流通業、半導体生産ライン、自動車生産ライン、空港向けシステムとも利益率が改善しました。

この結果、営業利益は381億44百万円(同100.1%増)、経常利益は381億86百万円(同83.3%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は297億12百万円(同109.2%増)となりました。

なお、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益は、いずれも中間連結会計期間としては過去最高です。

当中間連結会計期間の当社グループの平均為替レートは、米ドルで154.08円(前年同期136.54円)、中国元で21.26円(同19.55円)、韓国ウォンで0.1133円(同0.1047円)等となりました。為替の変動により、前年同期比で受注高は約379億円、売上高は約163億円、営業利益は約18億円、それぞれ増加しました。

〔セグメントごとの業績〕

セグメントごとの業績は次のとおりです。受注・売上は外部顧客への受注高・売上高を、セグメント利益は親会社株主に帰属する中間純利益を記載しています。

報告セグメントに関する詳細は、後記(セグメント情報等)をご覧ください。

なお、前連結会計年度より、量的重要性が増加したことに伴い、従来「その他」に含めていた「大福自動搬送設備(蘇州)有限公司(DSA)」を報告セグメントとしています。これに伴い、前中間連結会計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントにより作成しています。

当社グループのうち、海外子会社については、そのほとんどが12月末決算のため2024年1月1日から6月30日までの期間の状況を記載しています。

① 株式会社ダイフク

受注は、半導体生産ライン向けシステムが大きく伸び、前年同期の実績を上回りました。

売上は、豊富な前期末受注残高をベースに全体としては好調に推移しました。

セグメント利益は、増収効果に加え、原材料・人件費高騰に伴うコスト増加分の価格転嫁の進展等により増益となりました。

この結果、受注高は1,053億85百万円(前年同期比2.9%増)、売上高は1,214億77百万円(同17.5%増)、セグメント利益は176億70百万円(同40.8%増)となりました。

② コンテックグループ

日本市場・海外市場ともに顧客の在庫調整の影響を受け受注高は減少しました。一方、為替変動の影響等により海外で増収となり売上高は増加しました。

セグメント利益は、国内での売上減少が影響し減益となりました。

この結果、受注高は96億76百万円(前年同期比11.4%減)、売上高は92億75百万円(同4.1%増)、セグメント利益は3億62百万円(同34.0%減)となりました。

③ Daifuku North America, Inc. (DNA) グループ

受注は、空港向けシステムが好調に推移し、大きく増加しました。

売上・セグメント利益は、豊富な前期末受注残高をベースに計画に対し概ね順調に推移しました。

この結果、受注高は1,168億15百万円(前年同期比29.1%増)、売上高は864億15百万円(同1.9%減)、セグメント利益は61億35百万円(同16.8%増)となりました。

④ Clean Factomation, Inc. (CFI)

受注は低調だった前年からは回復基調にありますが、売上は前年同期の実績を下回りました。

セグメント利益は、高採算案件の売上計上が進んだこと等により増加しました。

この結果、受注高は123億72百万円(前年同期比1.2%増)、売上高は129億73百万円(同11.2%減)、セグメント利益は9億25百万円(同23.6%増)となりました。

⑤ 大福自動搬送設備(蘇州)有限公司(DSA)

受注は、前年同期の実績を下回ったものの、レガシー半導体向け投資が高水準で継続しました。

売上・セグメント利益ともに、豊富な前期末受注残高をベースに前年同期の実績を大幅に上回りました。

この結果、受注高は252億25百万円(前年同期比17.5%減)、売上高は252億23百万円(同143.0%増)、セグメント利益は70億6百万円(同330.8%増)となりました。

⑥ その他

「その他」は、当社グループを構成する連結子会社66社のうち、上記②③④⑤以外の国内外の子会社です。これらの各社は、マテリアルハンドリングシステム・洗車機等の製造・販売・工事・サービスを行っています。主な子会社の状況は、次のとおりです。

国内子会社：

株式会社ダイフクプラスモアは、各種洗車機の販売等を行っています。

海外子会社：

中国、台湾、韓国、タイ、インドなどにマテリアルハンドリングシステム・洗車機の生産拠点があり、最適地生産・調達体制の一翼を担いつつ、販売・工事・サービスもを行っています。

また、北中米、アジア、欧州、オセアニアには販売・工事・サービスを行う子会社を幅広く配置しています。

受注は、半導体生産ライン向けシステムを中心に好調に推移しました。売上・セグメント利益は、前期末受注残高をベースに概ね計画通りに推移しました。

この結果、受注高は644億46百万円(前年同期比35.2%増)、売上高は464億70百万円(同15.2%減)、セグメント利益は19億87百万円(同37億円増益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

資産は、前連結会計年度末に比べ434億4百万円増加し、6,895億59百万円となりました。これは主に受取手形・完成工事未収入金等及び契約資産が290億75百万円減少したものの、現金及び預金が577億15百万円、有形固定資産が63億40百万円、流動資産その他に含まれている前払金が49億13百万円それぞれ増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ76億84百万円増加し、2,950億84百万円となりました。これは主に支払手形・工事未払金等が58億91百万円、短期借入金が62億77百万円減少したものの、契約負債が174億43百万円増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ357億20百万円増加し、3,944億75百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が20億69百万円減少したものの、利益剰余金が200億61百万円、為替換算調整勘定が175億84百万円それぞれ増加したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ609億99百万円増加し、1,974億45百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、680億38百万円となりました(前年同期は14億19百万円の増加)。これは主に仕入債務の減少額が122億84百万円あったものの、税金等調整前中間純利益が385億47百万円、売上債権及び契約資産の減少額が416億85百万円あったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の増加は、6億76百万円となりました(前年同期は122億95百万円の減少)。これは主に固定資産の取得による支出が54億81百万円あったものの、定期預金の払戻による収入が51億53百万円、投資有価証券の売却による収入が16億11百万円あったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、169億75百万円となりました(前年同期は323億47百万円の増加)。これは主に短期借入金の減少額が65億63百万円、配当金の支払額が96億42百万円あったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2024年8月8日に公表した、2024年12月期通期の連結業績予想を以下のよう
に修正しました。

豊富な前期末受注残高をベースに、売上が計画通りに進捗する一方、原材料・人件費高騰に伴うコスト増加分の
価格転嫁等の進展に伴い収益性が改善し、利益面は前回公表時の予想を上回る見通しとなりました。

このため、2024年12月期の第2四半期末(中間)配当を前回予想から3円引き上げること
を2024年11月8日の取締役会で決議しました。また、期末配当予想については4円増配することと
しました。詳細は、本日別途開示しています「通期業績予想、剰余金の配当(中間配当)及び
期末配当予想の修正のお知らせ」をご覧ください。

なお、2024年6月21日に開催した第108回定時株主総会での決議をもって、当社グループの決算期(事業年度の
末日)は毎年3月31日から毎年12月31日に変更となりました。そのため、決算期変更の経過期間となる
当連結会計年度(2024年12月期)は、株式会社ダイフク並びに国内を中心とした従来の3月決算子会社は
2024年4月1日から12月31日までの9カ月間を、海外を中心とした子会社は2024年1月1日から12月31日
までの12カ月間を連結対象期間としています。

2024年12月期通期連結業績予想の修正(2024年4月1日~2024年12月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	550,000	56,000	59,000	42,000	113.30
今回発表予想(B)	550,000	64,000	66,000	48,500	131.12
増減額(B-A)	—	8,000	7,000	6,500	—
増減率(%)	—	14.3	11.9	15.5	—

(注) 上記予想は、当社が本業績予想の発表日において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績等は
様々な要因で予想値と異なる結果となる場合があります。

2024年12月期通期につきましては、決算期変更の経過期間となることから前期連結実績は記載して
いません。

なお、受注高は、2024年8月8日に公表した通期予想(590,000百万円)を、据え置いています。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	142,044	199,760
受取手形・完成工事未収入金等及び契約資産	271,633	242,557
商品及び製品	9,291	10,024
未成工事支出金等	14,144	14,918
原材料及び貯蔵品	43,060	41,600
その他	17,473	21,817
貸倒引当金	△1,219	△791
流動資産合計	496,426	529,887
固定資産		
有形固定資産	77,451	83,791
無形固定資産		
のれん	3,299	3,286
その他	8,828	9,252
無形固定資産合計	12,128	12,538
投資その他の資産		
その他	60,148	63,342
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	60,148	63,341
固定資産合計	149,728	159,672
資産合計	646,154	689,559
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	61,154	55,262
電子記録債務	19,421	19,177
短期借入金	9,428	3,150
未払法人税等	9,532	9,401
契約負債	79,576	97,019
賞与引当金	1,817	8,103
工事損失引当金	853	1,041
その他	29,607	24,558
流動負債合計	211,392	217,715
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	61,088	60,985
長期借入金	100	100
退職給付に係る負債	6,784	6,709
その他の引当金	551	525
その他	7,483	9,048
固定負債合計	76,007	77,368
負債合計	287,399	295,084

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,865	31,865
資本剰余金	20,490	20,490
利益剰余金	288,311	308,373
自己株式	△20,944	△20,799
株主資本合計	319,723	339,929
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,874	5,804
繰延ヘッジ損益	△145	13
為替換算調整勘定	28,519	46,104
退職給付に係る調整累計額	2,440	2,203
その他の包括利益累計額合計	38,688	54,125
非支配株主持分	342	419
純資産合計	358,755	394,475
負債純資産合計	646,154	689,559

(2) 中間連結損益及び包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	281,267	302,621
売上原価	235,328	234,565
売上総利益	45,938	68,055
販売費及び一般管理費		
販売費	9,218	9,303
一般管理費	17,659	20,606
販売費及び一般管理費合計	26,878	29,910
営業利益	19,060	38,144
営業外収益		
受取利息	807	1,457
受取配当金	233	235
受取賃貸料	137	110
その他	906	219
営業外収益合計	2,084	2,022
営業外費用		
支払利息	158	187
社債利息	△9	△102
為替差損	—	1,833
その他	156	63
営業外費用合計	306	1,981
経常利益	20,838	38,186
特別利益		
投資有価証券売却益	122	1,088
その他	75	12
特別利益合計	198	1,101
特別損失		
固定資産除売却損	126	174
特別退職金	78	534
和解金	528	—
その他	1	32
特別損失合計	734	740
税金等調整前中間純利益	20,302	38,547
法人税、住民税及び事業税	9,742	13,395
法人税等調整額	△3,645	△4,603
法人税等合計	6,096	8,792
中間純利益	14,205	29,755
(内訳)		
親会社株主に帰属する中間純利益	14,206	29,712
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△0	42

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,373	△2,069
繰延ヘッジ損益	△494	158
為替換算調整勘定	10,931	17,619
退職給付に係る調整額	84	△237
持分法適用会社に対する持分相当額	△66	—
その他の包括利益合計	12,827	15,471
中間包括利益	27,033	45,226
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	27,000	45,149
非支配株主に係る中間包括利益	32	77

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	20,302	38,547
減価償却費	4,489	4,632
受取利息及び受取配当金	△1,041	△1,692
支払利息	158	187
社債利息	△9	△102
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△533	41,685
棚卸資産の増減額(△は増加)	△7,595	2,351
仕入債務の増減額(△は減少)	△19,025	△12,284
契約負債の増減額(△は減少)	18,210	10,195
その他	△3,477	△5,121
小計	11,478	78,397
利息及び配当金の受取額	986	1,700
利息の支払額	△155	△190
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△11,051	△11,521
その他	160	△347
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,419	68,038
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△81	△1,608
定期預金の払戻による収入	—	5,153
固定資産の取得による支出	△6,874	△5,481
固定資産の売却による収入	22	231
投資有価証券の売却による収入	198	1,611
投資有価証券の償還による収入	—	900
投資有価証券の取得による支出	△5,917	△11
その他	355	△119
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,295	676
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	190	△6,563
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	61,082	—
自己株式の取得による支出	△19,211	△2
配当金の支払額	△8,820	△9,642
その他	△895	△766
財務活動によるキャッシュ・フロー	32,347	△16,975
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,038	9,260
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	26,510	60,999
現金及び現金同等物の期首残高	102,389	136,445
現金及び現金同等物の中間期末残高	128,899	197,445

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

重要なヘッジ会計の方法の変更

当社グループは、従来、為替予約については繰延ヘッジ処理及び振当処理を行っていましたが、当中間連結会計期間の期首より、期末に時価評価を行い、評価差額はその期の損益として処理する方法に変更しています。当該変更は、デリバティブの取引実態をより適切に連結財務諸表に反映させることを目的としたものです。なお、当該会計方針の変更は、過去の期間に与える影響が軽微であるため、遡及適用しておらず、当中間連結会計期間の損益に与える影響も軽微です。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

固定資産の減価償却方法及び耐用年数の変更

従来、当社及び国内連結子会社は主として定率法、海外連結子会社は定額法を採用していましたが、当中間連結会計期間の期首より、当社及び国内連結子会社は全ての有形固定資産について定額法に変更しています。

当社グループでは、「2027年中期経営計画」における設備投資計画の策定を契機として固定資産の使用状況を検討した結果、各事業資産の使用状況は耐用年数にわたり安定的に稼働すると見込まれることから、有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却方法として定額法を採用することが、期間損益計算をより適切に行えるものと判断しました。

また、当社及び連結子会社は、有形固定資産及び無形固定資産の使用実態を見直し、当中間連結会計期間の期首より、一部の有形固定資産及び無形固定資産の耐用年数を実態にあわせた耐用年数に変更しています。

なお、この変更による当中間連結会計期間の損益に与える影響は軽微です。

(追加情報)

連結決算日の変更に関する事項

2024年6月21日に開催した第108回定時株主総会での決議をもって、当社グループの決算期(事業年度の末日)は毎年3月31日から毎年12月31日に変更となりました。そのため、決算期変更の経過期間となる当連結会計年度(2024年12月期)は、株式会社ダイフク並びに国内を中心とした従来の3月決算子会社は2024年4月1日から12月31日までの9カ月間を、海外を中心とした子会社は2024年1月1日から12月31日までの12カ月間を連結対象期間としています。

(セグメント情報等)

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DNA	CFI	DSA	計		
売上高								
外部顧客への売上高	103,358	8,914	88,079	14,605	10,378	225,336	54,790	280,127
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,697	7,372	294	1,594	786	28,745	4,630	33,376
計	122,055	16,286	88,374	16,200	11,165	254,082	59,421	313,503
セグメント利益又は損失 (△)	12,550	549	5,253	749	1,626	20,728	△1,713	19,014

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社です。

2 報告セグメントの売上高及び利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	金額
報告セグメント計	254,082
「その他」の区分の売上高	59,421
セグメント間取引消去	△33,376
その他の連結上の調整額	1,139
中間連結財務諸表の売上高	281,267

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	20,728
「その他」の区分の利益	△1,713
関係会社からの配当金の消去	△4,575
その他の連結上の調整額	△233
中間連結財務諸表の 親会社株主に帰属する中間純利益	14,206

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DNA	CFI	DSA	計		
売上高								
外部顧客への売上高	121,477	9,275	86,415	12,973	25,223	255,364	46,470	301,835
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,155	1,931	1,281	2,482	372	24,223	6,441	30,665
計	139,633	11,206	87,696	15,456	25,595	279,588	52,912	332,500
セグメント利益	17,670	362	6,135	925	7,006	32,100	1,987	34,087

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社です。

2 報告セグメントの売上高及び利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	金額
報告セグメント計	279,588
「その他」の区分の売上高	52,912
セグメント間取引消去	△30,665
その他の連結上の調整額	785
中間連結財務諸表の売上高	302,621

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	32,100
「その他」の区分の利益	1,987
関係会社からの配当金の消去	△3,917
その他の連結上の調整額	△457
中間連結財務諸表の 親会社株主に帰属する中間純利益	29,712

3 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において、量的重要性が増加したことに伴い、従来「その他」に含めていた「大福自動搬送設備(蘇州)有限公司(DSA)」を報告セグメントとしています。これに伴い、前中間連結会計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントにより作成しています。

また、2024年1月1日付で、Daifuku North America Holding Company(DNAHC)はDaifuku North America, Inc.(DNA)に社名変更しました。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1 業種別の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DNA	CFI	DSA	計		
自動車及び自動車部品	10,335	45	16,308	—	—	26,688	8,606	35,294
エレクトロニクス	39,360	637	11,275	14,605	10,378	76,257	17,237	93,495
商業及び小売業	22,388	4,442	34,759	—	—	61,589	10,712	72,302
運輸・倉庫	5,335	47	1,392	—	—	6,775	3,004	9,779
機械	3,420	423	98	—	—	3,942	647	4,590
化学・薬品	8,022	2,411	76	—	—	10,510	1,585	12,096
食品	3,665	0	1,454	—	—	5,120	2,418	7,538
鉄鋼・非鉄金属	2,616	7	7	—	—	2,631	124	2,756
精密機器・印刷・事務機	1,130	603	3	—	—	1,737	249	1,986
空港	1,580	162	20,050	—	—	21,793	8,519	30,312
その他	5,502	132	2,653	—	—	8,288	1,686	9,974
外部顧客への売上高	103,358	8,914	88,079	14,605	10,378	225,336	54,790	280,127
その他の連結上の調整額	—	—	—	—	—	—	—	1,139
中間連結財務諸表の売上高	—	—	—	—	—	—	—	281,267

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社です。

2 仕向地別の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DNA	CFI	DSA	計		
日本	77,305	5,620	—	—	—	82,926	7,729	90,655
海外	26,052	3,293	88,079	14,605	10,378	142,409	47,061	189,471
北米	2,229	2,667	77,971	4,264	—	87,132	1,848	88,981
アジア	21,130	439	1,637	10,341	10,378	43,927	34,274	78,202
中国	13,661	225	73	609	10,378	24,948	7,385	32,334
韓国	2,361	22	—	9,731	—	12,116	3,880	15,996
台湾	2,594	51	—	—	—	2,645	13,530	16,175
その他	2,513	140	1,563	—	—	4,217	9,478	13,696
欧州	359	171	4,376	—	—	4,908	3,902	8,810
中南米	1,136	14	3,016	—	—	4,167	1,355	5,522
その他	1,196	—	1,078	—	—	2,274	5,679	7,953
外部顧客への売上高	103,358	8,914	88,079	14,605	10,378	225,336	54,790	280,127
その他の連結上の調整額	—	—	—	—	—	—	—	1,139
中間連結財務諸表の売上高	—	—	—	—	—	—	—	281,267

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社です。

3 収益認識の時期別の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DNA	CFI	DSA	計		
一時点で移転される財	23,117	6,210	7,960	430	513	38,233	13,872	52,106
一定の期間にわたり移転される財	80,240	2,703	80,119	14,174	9,864	187,103	40,918	228,021
外部顧客への売上高	103,358	8,914	88,079	14,605	10,378	225,336	54,790	280,127
その他の連結上の調整額	—	—	—	—	—	—	—	1,139
中間連結財務諸表の売上高	—	—	—	—	—	—	—	281,267

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社です。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1 業種別の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DNA	CFI	DSA	計		
自動車及び自動車部品	14,233	46	14,612	—	—	28,893	9,250	38,143
エレクトロニクス	49,718	461	8,788	12,973	25,223	97,165	7,712	104,877
商業及び小売業	20,566	4,133	28,553	—	—	53,253	10,592	63,846
運輸・倉庫	8,703	40	2,187	—	—	10,931	4,007	14,939
機械	4,314	370	63	—	—	4,748	907	5,655
化学・薬品	9,377	3,086	6	—	—	12,470	1,127	13,598
食品	4,180	0	6,854	—	—	11,034	1,030	12,065
鉄鋼・非鉄金属	2,331	2	14	—	—	2,349	74	2,423
精密機器・印刷・事務機	1,559	748	2	—	—	2,310	298	2,608
空港	1,198	317	19,092	—	—	20,607	10,030	30,638
その他	5,294	68	6,238	—	—	11,601	1,438	13,039
外部顧客への売上高	121,477	9,275	86,415	12,973	25,223	255,364	46,470	301,835
その他の連結上の調整額	—	—	—	—	—	—	—	785
中間連結財務諸表の売上高	—	—	—	—	—	—	—	302,621

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社です。

2 仕向地別の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DNA	CFI	DSA	計		
日本	80,998	5,014	445	—	—	86,458	6,828	93,287
海外	40,479	4,260	85,970	12,973	25,223	168,906	39,642	208,548
北米	1,885	3,354	79,201	539	—	84,981	3,693	88,675
アジア	36,065	654	872	12,434	25,223	75,249	24,569	99,818
中国	26,532	440	15	225	24,979	52,194	5,656	57,851
韓国	605	50	—	12,209	—	12,865	4,704	17,570
台湾	6,347	54	—	—	243	6,645	6,662	13,307
その他	2,579	108	856	—	—	3,544	7,545	11,089
欧州	964	251	2,916	—	—	4,132	3,443	7,575
中南米	276	0	2,073	—	—	2,350	1,270	3,620
その他	1,287	—	905	—	—	2,193	6,665	8,858
外部顧客への売上高	121,477	9,275	86,415	12,973	25,223	255,364	46,470	301,835
その他の連結上の調整額	—	—	—	—	—	—	—	785
中間連結財務諸表の売上高	—	—	—	—	—	—	—	302,621

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社です。

3 収益認識の時期別の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DNA	CFI	DSA	計		
一時点で移転される財	26,289	5,635	7,270	449	789	40,434	14,494	54,928
一定の期間にわたり移転される財	95,187	3,639	79,144	12,524	24,434	214,930	31,976	246,907
外部顧客への売上高	121,477	9,275	86,415	12,973	25,223	255,364	46,470	301,835
その他の連結上の調整額	—	—	—	—	—	—	—	785
中間連結財務諸表の売上高	—	—	—	—	—	—	—	302,621

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社です。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2024年11月8日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。

(1) 自己株式の取得を行う理由

資本効率の向上、株主還元の更なる拡充及び株式数削減を通じた1株当たり株式価値の上昇を目的としています。

(2) 取得に係る事項の内容

- | | |
|--------------|---|
| ① 取得対象株式の種類 | 普通株式 |
| ② 取得する株式の総数 | 5,000,000株(上限)
(2024年10月31日時点の発行済株式総数(自己株式を除く。))に対する割合1.35%) |
| ③ 株式の取得価額の総額 | 100億円(上限) |
| ④ 取得期間 | 2024年11月11日から2024年12月31日まで |
| ⑤ 取得方法 | 東京証券取引所における市場買付け |

(注) 市場動向等により一部又は全部の注文の執行が行われなかったことがあります。

(ご参考)

2024年10月31日時点の自己株式の保有状況

発行済株式総数(自己株式を除く。)	370,733,143株
自己株式数	9,097,088株

(注) 当社が導入する「株式給付信託(BBT)」が保有する当社株式を自己株式に含めています。